

条例	補正予算※	人事案件	意見書	付議事件※
5件	2件	3件	6件	12件

※補正予算 年度当初の予算（当初予算）に、追加・その他の変更を加えるために提出される予算  
 ※付議事件 本市議会だよりでは、議案のうち条例、補正予算、人事案件、意見書以外のものを付議事件としています。

～第2回定例会のあらまし～

6月17日開会の第2回定例会に提案された議案は、条例5件、補正予算2件、人事案件3件、意見書6件、付議事件として報告2件、工事請負契約の締結1件、財産の取得3件、専決処分の承認1件の合わせて23件でした。

うち、補正予算2件、人事案件3件、付議事件5件は、17日に全会一致で可決・同意・適任と答申・承認。また、17日は第1回定例会から継続審査としていた陳情第1号を賛成少数で不採択としました。

条例5件は、総務経済常任委員会の審査を経て、25日の最終日に全会一致または賛成多数で可決。また、25日は追加提案の意見書6件を全会一致で可決しました。

**Pick Up**

**補正予算** **J R留萌本線代替交通、生きがい文化センターの在り方の検討に要する事業費を含む補正予算案を可決** **全会一致**

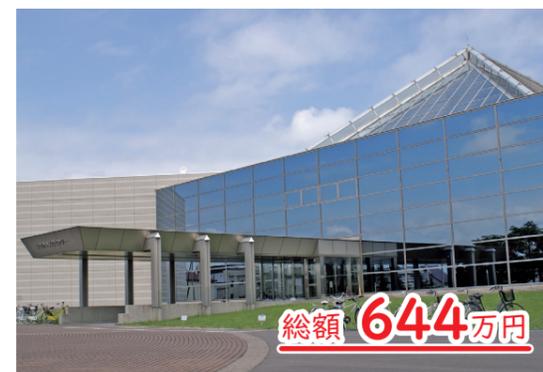
6月17日開会の第2回定例会において、J R留萌本線廃線後の代替交通や、生きがい文化センターの今後の在り方に関する検討費用など、各事業費が計上された一般会計補正予算（第1号）を可決しました。事業の中から主なものを紹介します。

J R留萌本線代替交通車両の購入費用助成



J R留萌本線廃止に伴い、路線バス沼田線を代替交通として再編するに当たり、運行事業者である道北バス株式会社が路線バス車両を新たに2台購入するため、その購入費用に対し、沿線自治体でバス事業者に補助金を交付するものです。

生きがい文化センターの在り方検討（専門家の招聘）



生きがい文化センターの利活用の方策など、今後の在り方について検討していきます。この検討に当たっては、総務省の地域力創造アドバイザー制度を活用し、地域の活性化に関する知見やノウハウを有する外部専門家を招聘し、指導や助言を受けるものです。

【主な議案】

■財産の取得（教職員用コンピュータ） **全会一致**

平成30年度に購入した小中学校の教職員用コンピュータは、老朽化が著しく、現在使用している基本ソフトウェアのサポートが令和7年度で終了することから、185台のコンピュータを更新するものです。

■財産の取得（令和7年度深川市立小中学校学習者用コンピュータ等調達） **全会一致**

文部科学省が掲げるGIGAスクール構想において、令和2年度に整備した児童生徒の学習者用コンピュータ等が老朽化したことから、国の補助事業を活用し、予備機を含めた112台のコンピュータを更新するものです。

■深川市都市農村交流センター条例の一部を改正する条例 **賛成多数**

■深川市オートキャンプ場設置条例の一部を改正する条例 **全会一致**

両施設は開設以来、消費税額を除く利用料金の上限額を据え置いてきましたが、近年、光熱水費や人件費が急激に上昇していること、また、全国的に宿泊料金が上昇している現状を踏まえ、安定した施設運営の継続が可能となるよう、利用料金の上限額などを見直すものです。

■教育委員会委員の任命 **同意**

倉本 茂子 さん

教育委員会委員 倉本茂子さんの任期満了に伴い、引き続き同氏を任命したいとの提案があり、全会一致で任命に同意しました。

■公平委員会委員の選任 **同意**

松下 民男 さん

公平委員会委員 岡林佳廣さんの任期満了に伴い、新たに松下民男さんを選任したいとの提案があり、全会一致で選任に同意しました。

■人権擁護委員候補者の推薦 **適任と答申**

竹田 武志 さん

旭川地方法務局長から依頼がありました人権擁護委員の候補者として、竹田武志さんの推薦があり、全会一致で適任と答申しました。

【意見書】

全会一致で可決し、内閣総理大臣等に送付しました。

■国内農業を犠牲としない日米関税交渉などを求める意見書

■ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

■地方財政の充実・強化に関する意見書

■義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書

■2025年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

■将来にわたり安全安心な医療・介護制度の提供を求める意見書

市議会だよりに掲載しきれなかった案件はHPで確認できます。

議決結果

# Appoint 議会運営委員・常任委員を選任

議員の任期は4年ですが、議会運営委員・常任委員の任期は2年であるため、6月25日の本会議で、下記のとおり後期の議会運営委員・常任委員を選任しました。



任期：令和7年6月25日～  
令和9年6月17日（議員任期満了）

## 議会運営委員会

- 委員長 北村 薫
- 副委員長 山本 時雄
- 委員 村上 誠 伊藤美恵子 松本 雅祐

## 総務経済常任委員会

- 委員長 宮澤 孝司
- 副委員長 伊藤美恵子
- 委員 北村 薫 有働 正夫 新田 旺  
松本 雅祐 佐々木一夫

## 厚生文教常任委員会

- 委員長 田畑 陽美
- 副委員長 村上 誠
- 委員 鶴岡 恵司 大前 昭代 山本 時雄  
松原やす子

※近沢弘幸議長は、議長職に専念するため、議会の許可を得て厚生文教常任委員を辞任しました。

	議案	議員名（議席番号順）											議決結果				
		伊藤美恵子	新田 旺	有働 正夫	村上 誠	松原やす子	佐々木一夫	大前 昭代	田畑 陽美	北村 薫	近沢 弘幸	鶴岡 恵司		宮澤 孝司	松本 雅祐	山本 時雄	
第2回臨時会	工事請負契約の締結について（深川市複合施設建設工事（建築主体工事））	○	○	○	○	●	●	○	○	○	-	○	○	○	○	○	可決
	工事請負契約の締結について（深川市複合施設建設工事（強電設備工事））	○	○	○	○	●	●	○	○	○	-	○	○	○	○	○	可決
	工事請負契約の締結について（深川市複合施設建設工事（空調換気設備工事））	○	○	○	○	●	●	○	○	○	-	○	○	○	○	○	可決
第2回定例会	加齢による難聴者への補聴器購入に対する公的助成制度を求める陳情書	●	●	●	●	○	○	●	●	●	-	●	●	●	●	●	不採択
	深川市都市農村交流センター条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	●	●	○	○	○	-	○	○	○	○	○	可決

※賛成=○、反対=●、近沢弘幸議長は採決に加わりません。

## Pick Up

陳情審査

### 加齢による難聴者への補聴器購入に対する公的助成制度を求める陳情書

令和7年第1回定例会において、陳情第1号「加齢による難聴者への補聴器購入に対する公的助成制度を求める陳情書」が厚生文教常任委員会に付託され、委員会を3月10日及び4月25日の2回開催し、慎重に審査を行いました。

この陳情の趣旨は、加齢性難聴が社会生活に支障を来し、認知症や鬱病の一因ともされていることから、補聴器の使用によって生活の質の維持、健康寿命の延伸、医療費の抑制につながるため、深川市独自の補聴器購入助成制度の創設を求めるものです。

委員会における審査の中で、「**難聴は個人差が大きい**ため一律の対応が困難。助成制度の導入には、他市町村の動向や所管部署の検討状況を踏まえた総合的な判断が必要であり、現時点での採択は時期尚早と考えるため、本陳情は不採択とすべき」「補聴器購入助成は全国的に広がっており、深川市でも600筆の署名が提出されたことは重く受け止めるべき。加齢性難聴は今後深刻化が予想され、社会生活を支えるためにも支援体制の整備が求められることから、本陳情は採択すべき」などの発言がありました。

その後採決を行い、陳情第1号を賛成少数により不採択すべきものと決定し、令和7年第2回定例会初日の本会議においても、賛成少数により不採択とすることに決定しました。

賛成少数で不採択に決定

## Pick Up

議会改革

### 議会のペーパーレス化に向けてタブレット端末導入を検討中

深川市議会では、議会運営の活性化や効率化、環境負荷の軽減を目的に、タブレット端末を活用したペーパーレス化を検討しています。6月30日には、ペーパーレス会議システムのデモンストレーションを実施し、導入に向けた準備を進めており、今後、年度内の導入を目指し、さらなる検討を重ねていきます。



会議システムのデモンストレーションの様子